

# わかげのいたり

全国福祉保育労働組合京都地本青年部

〒602-8155

京都市上京区竹屋町通千本東入る主税町 1100-1

京都福祉保育総合センター内

TEL. 075(813)4800 FAX. 075(822)6220

8月21・22日と、東京浅草において、『なつわか。』が開催されました。

北は北海道から南は福岡まで、全国各地から70人(京都からは5名の青年+委員長)を超える参加で、無事に成功することが出来ました。今回は**本気で学ぶ「なつわか。」青年労働組合講座**として、例年とは少し趣向を変えての取り組みになりました。今、地本や支部でも、青年層が役員を担うことが少なくなってきました。次世代育成という中央本部のねらいと、組合の歴史や社会的役割を、青年達に伝えたい。そんな思いから企画され、【講義とグループトーク】をセットにし、3つのテーマで進められました。

**第1講義《労働組合と私》リレートークでは5人の青年がそれぞれの想いを語りました。**

**東海【グリーンフェスティバル(新歓企画)の取り組みを通して】**

東海では、新歓企画を青年による実行委員会で開催しています。200名を集める東海のステキな企画。職場の中では難しさを抱えていても、実行委員会で仲間と作りあいながら、自分のしんどさも吐き出せる。そんなつながりがあるからこそ仕事がしんどくても乗り越えられてきたというお話でした。



**群馬【解雇闘争を支えて】**

給食の味が薄いと言われ、苦渋の末に園長の検食に塩を振ったというベテラン調理師に、解雇通告。園長の運営方針を問題視し、労働組合を結成。2年5ヶ月にわたる裁判の結果、和解が成立。現場復帰はもちろん、失職期間中の未払い賃金の支払いも合意させることが出来ました。解雇闘争を支えた組合員のお話は、胸が詰まりそうになるほどぐっと来るものでした。

**京都【プール制闘争】**

全国的に公私間格差是正制度も薄れてきている中、京都が誇りにしてきたこの制度。プール制があるからこそ青年が未来のビジョンも描けたはず。全国的な保育制度改悪の流れは、子どもの商品化?? ポイント制の具体例を出しながら、闘いの報告をしました。3月の座り込み～夜のパレードの映像も見てもらいました。

**秋田【私の組合ヒストリー】**

組合に入って3ヶ月で、『執行部やってください』といわれたRYOさん。秋田県労連(京都でいうなら京都総評)に参加するなど、どんどん組合仕事が増えていきました。それまでは『形ばかりの団体交渉』だったけれど、県労連や地本の支えもあり、交渉の内容も変わってきた。一人ではどうにもならなくても、情熱を持って取り組む仲間が集まることで、何かが変わる。それが実感できるようになってきたそうです。



**東京【地本の執行委員やりがいと悩み】**

あなたにとって組合とは?という設問に【笑顔と涙】と書いたPIROさん。組合って重いししんどい。もう限界と思うこともたくさんある。いっぱい泣いてきた。でも、笑顔になれることも多かった。仲間とのつながりを実感する中で、今は『組合に加入してよかった』って思える、と。同じように感じている人も多いいんじゃないでしょうか。

**アドバイザーの藤原さん(東海地本書記長)**からは、『誘われるまま組合に入ったけれど、言葉も内容もわからない』『やらされていると感じることも多い』ホントそうだね。と、青年の思いに共感を持ってアドバイスしてくださったので、聞きながらみんなが「ウンウン」とうなずいて、前を向ける話になりました。その後のグループトークでは、それぞれが『あなたにとって組合とは?』というテーマで話をしていきました。組合がなかったら仕事続けてこれなかった…という意見や、仲間の存在って本当にありがたいという意見もたくさん出ていました。



第2講座《労働組合と仕事》は前田鉄雄中央&京都地本委員長に。第3講義《労働組合の社会的役割～激動の時代の中で～》は全労連顧問の坂内三夫さんにお話をいただきました。

**全国青年部ニュース『てくてく』にも報告が掲載されていますのであわせてご覧ください。**

### 京都参加者の感想

**全国**の仲間たちと交流する機会が持て良かったです。活動や仕事に悩みを抱えながらも、努力している仲間たちの報告を聞いていると、今のままの自分で良いのかなあ、もっとやれることがあるんじゃないのかと思いました。同時に活動を続けることによって状況も改善されていく報告にはたいへん勇気付けられました。また、講師の方々のお話して下さったこれまでの運動の歴史ははじめて知ることが多くて興味深く、もっと掘り下げた話が聞ききたかったほどです。充実した2日間でした。(市社児分会 河村 有紀)

**初めて**なつわか。に参加しました。すごくドキドキしてたけど、結果すごく楽しかったです。というのも、新たな発見がたくさんあったからで、一番は“つながり”とゆうこと。初めて出逢ったのに、仕事や組合の悩みもおもしろさも共感することが多くて、話すこと、聞くことがすごく楽しく、ワクワクしました。グループトークだったからこそ深く話せたのかもしれない。次逢うときも“なつわか。の時の!!”って話が出来ればいいなあ。(伏見支部 ピノキオ保育園分会 勝間 陽子)

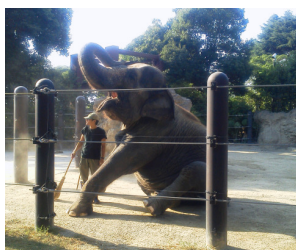


### ミステリーツアー

総会の後は、平和コース・観光コースに分かれてのミステリーツアー。

**平和コース**では第5福竜丸の見学に夢の島公園へ。

第5福竜丸とは・・・1954年3月1日、第五福竜丸はマーシャル諸島近海において操業中にビキニ環礁で行われた水爆実験に遭遇し、船体・船員・捕獲した魚類が放射性降下物に被爆した。実験当時、第五福竜丸は米国が設定した危険水域の外で操業していた。危険を察知して海域からの脱出を計ったが延縄の収容に時間がかかり、数時間に渡って放射性降下物の降灰を受け続けることとなり第五福竜丸の船員23名は全員被爆した。後に米国は危険水域を拡大、第五福竜丸以外にも危険区域内で多くの漁船が操業していたことが明らかとなった。この水爆実験で放射性降下物を浴びた漁船は数百隻にのぼるとみられ、被曝者は2万人を越えると思われている。第五福竜丸の水爆災害(とりわけ久保山無線長(当時40歳)が「原水爆による犠牲者は、私で最後にして欲しい」と遺言を遺して息を引き取った事)は、当時の日本国内に強烈な反核運動を起す結果となった。



**観光コース**は上野動物園に。

さて、ここで動物クイズ

Q1 ミミズク・フクロウの違いは何でしょう??

- ①耳穴の大きさ ②視野の広さ ③耳羽の有無

Q2 ゾウの一日の排便量はどのくらい??

- ①80kg ②90kg ③100kg

Q3 ミアキャットはなぜ立っている??

- ①好きで立っている ②えさを探している ③見張りをしている

クイズの正解はどこかにあります



### 今後の青年部の取り組み

10月24日(日) どんといけまつり後にDONといこう!!青年部交流会

11月12日(金) 第11回京都地本青年部定期総会 福祉保育総合センターにて